

平成 18 年 9 月 4 日
日本銀行盛岡事務所

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1. 概 況

県内経済は、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は一進一退の動きとなっているが、住宅投資は、分譲を中心に増加を続けている。一方、生産動向は、IT・自動車関連分野を中心に増加傾向にあり、雇用情勢は改善傾向が続いている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、全体としては一進一退の状況が続いている。

(大型小売店売上高)

百貨店の売上げは、気温が高目に推移したため夏物衣料品のクリアランスセールが好調であったことなどから、底堅く推移している。一方、スーパーの売上げは、前年を下回る状況が続いている。

(家電量販店売上高)

家電売上高は、パソコン等の販売が伸び悩んだものの、薄型テレビやDVDの販売が好調に推移するなど、全体としては堅調な動きを続けている。

(乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数（軽自動車を含む）は、軽自動車が新型車投入効果から前年を上回って推移しているが、小型車・普通車の減少が続いていることから、全体では小幅ながら前年割れの状況となっている。

(観 光)

夏祭り(盛岡さんさ踊り)は、開催日を1日増やしたうえ天候にも恵まれ、前年を大幅に上回る入込み数となった。

(2) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、分譲に加え貸家も増加していることから、前年を大幅に上回って推移している。

(3) 公共投資

公共工事請負金額は、予算規模の縮小を背景に減少傾向にある。

3. 生産動向

生産面では、IT関連分野での回復や自動車関連分野での高操業を主因に、全体として増加傾向にある。

(電気機械)

電子部品・半導体では、海外の携帯電話や液晶テレビ向けを中心に生産が増加している。また、情報通信機械では、移動局通信装置の生産が堅調に推移している。

(輸送用機械)

自動車部品では、海外・国内の需要が好調なため、フル生産を続けている。完成車についても、輸出車主体に高操業を続けている。

(設備関連)

工作機械では、海外の自動車関連向けを中心に、フル操業を続けている。

(その他)

鉄鋼(線材)は、自動車向けを中心に操業度を高めている。

合板、セメントやコンクリート二次製品など建設関連品目では、マンション関連の受注増加もみられるが、公共投資が減少基調にあることから、全体としては生産能力を下回る生産が続いている。

紙・パ(段ボール原紙)は、食料品向けの需要好調などから、高水準の生産が続いている。

4. 雇用・所得動向

雇用情勢をみると、有効求人倍率は、製造業での生産回復を背景とした求人増加を主因に、改善傾向が続いている。

一方、所得面をみると、雇用者所得は引続き前年を下回って推移している。

5. 企業倒産

企業倒産（負債総額10百万円以上）をみると、1件当りの負債額は小口化しているが、件数ベースでは7月、8月と2ヶ月連続して2桁台となった。

6. 金融動向

預金動向をみると、個人預金が堅調に推移しているものの、公金預金が弱めの動きを続けていることなどから、前年を下回って推移している。

一方、貸出については、主力の短プラ連動貸出の引上げ適用日が8月下旬以降の先が多いこともあり、約定平均金利は小幅の上昇に止まっている。この間、貸出量の動向をみると、法人向けは、依然弱めの動きとなっているが、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移しており、地公体向けも増加しているため、全体では前年を上回って推移している。

以上